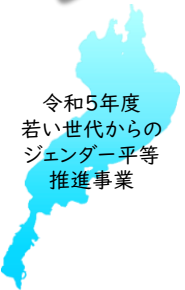


ジェンダー平等ミーティング



12月16日(土) テーマ

「スポーツとジェンダー」



SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS



「スポーツとジェンダー」

講師：木瀬悠里さん
三川茉莉さん
坂原朱音さん

(東近江バイオレッツ)

< 女子野球について >

- ・東近江市を拠点とし6年目
- ・関西大会2連覇
- ・全国初地域密着型
- ・選手20名、指導者2名
- ・練習してから、東近江市内の職場で勤務
- ・侍ジャパン女子日本代表選出(2018年、2021年)
- ・ボランティア活動

「スポーツとジェンダー」

講師：東近江バイオレッツのみなさん

< なぜ男子野球と女子野球は区別される？ >

- ・日本では「本来、野球は男のスポーツである」という意識が強い
- ・7イニング制
- ・甲子園は出られない（決勝戦のみだが、テレビ中継はない）
- ・オリンピック競技ではない
- ・野球をしている女子がうける偏見
- ・知られていない

「スポーツとジェンダー」

講師：東近江バイオレッツのみなさん

< 女子野球の魅力 >

- ・パワーは劣るが、しなやかでガッツあふれるプレー
- ・笑顔 女子にしかできないプレー
- ・7イニングの中で全力のプレーを
- ・ワールドカップ6連覇中!!

野球を楽しめるのは女子野球でも一緒

一番は自分たちが楽しむこと(好きな気持ちを大切に)

「スポーツとジェンダー」

講師：東近江バイオレッツのみなさん

< 女子野球の魅力 >

- ・球場にトイレがない（「野球は男子のもの」）
- ・着替えに困る

< 多くの方に知ってもらうために >

- ・試合を実際に見てもらう
- ・SNSでの発信やYouTube配信
- ・地域活動（ボランティア、幼稚園や小学校での夢事業 など）

女子野球の発展と認知について考える

◎多くの人に知ってもらい、競技人口を増やす

- ・今部活がある学校はそのまま
- ・高校や大学のサークルでも
- ・有名選手や有名人経由で知ってもらう
- ・小学生に教える 野球教室
- ・ジュニアチームをつくる
- ・PV集、SNS発信で選手自身のファンを増やす

女子野球の発展と認知について考える

◎多くの人に知ってもらい、競技人口を増やす

- ・地域の方々とのつながり
- ・SNSは調べないと出てこない
→ TikTok、おすすめ、「～してみた」などで女子野球の魅力を知ってもらう
- ・イベント
野球体験ブース “楽しさ”を知ってもらう
- ・有名チームと合同練習
- ・試合数を増やし、地元ファンを獲得

感想

- ・今回初めてアマチュアではあるが女性の野球チームがあるということを知った。また、まだまだ認知されていないことが多いんだとも感じました。
- ・野球というひとつスポーツなのに性別で分けられているのは、不平等だなと思いました。また女子野球の知名度の上げ方を考えましたがなかなかいい考えが浮かばず難しいなと思いました。
- ・私の周りでも女の子で野球の子が何人かいて本人たちはのびのびしているように感じていましたが、その子たちも何か制限がある中で野球をしていたのかと考えました。女子だから、などといった偏見やハンデに負けずに野球というスポーツで戦っている姿は本当にカッコよくて素晴らしいなと感じました。

感想

- ・今回のミーティングでスポーツにも男と女の壁があることがわかった。少しずつ変われるように自分も何かしていきたいと思った。
- ・自分も野球をしたのでちょっと共感できる部分があり女性ならではの大変なことや女子野球の見所を改めて感じることもあり、貴重な体験が出来たのでとても良かったなと思いました。
- ・初めて野球の女の人達の活動の話を聞いてとても苦労されていることを知りました。ですがプレイしている動画を見てとてもすごいと思いましたし、一緒に女子野球を広める案などを考えていくうちに応援する気持ちも増えてとても良かったです。
- ・女子野球の現状の課題などが知ることができた。こういうことを知ることが大切なのでいい機会になったと感じた。

感想

- ・女子野球という存在は知っていたけど、男子野球のように大々的に知っていたわけではなく、バイオレッツさんのお話を聞いて女子更衣室やトイレがないという問題や、女子チームが少ないという問題を聞いてもっと女子野球についてやスポーツでの男女不平等を多くの人に認知してもらう必要があるなと思いました。
- ・多くのスポーツがある中でも野球はまだ女子チームが少なく、女子野球ならではの男女不平等や設備等での不便なことについて知ることができました。
- ・今回初めて参加して、男女の平等に対して改善するためにいろいろなことを考えて行動している団体の話を聞いてとても貴重な時間でした。グループになって改善する具体的な方法を考える時間があり自分で真剣にこのような問題に向き合えてよかったです。

感想

・自分は小,中学生と軟式で野球をしていてチームに女の子がいる時期もありVIOLETSの皆様が仰っていた男女間で困ることなど私も多々ありました。少年野球に混ざっている女の子はよく見かけますが中高に上がるにつれ野球をできる環境が減っている印象がありました。まずは小さい子が大人になるまで続けられる環境が女子野球の発展に必要なだと思います。

・自分の弟が野球をやっていて親も大好きな野球一家みたいな感じですが女子の野球といえばソフトボールというイメージがあったので女子の野球がどんな雰囲気で行われているのか知れてよかったです。以前、ジェンダーの問題でニュースなどに甲子園の中に女性が入ってはいけないというのを耳にしたことがあって驚いたのを今でも覚えています。